

議案第51号

宝塚市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

資料5 広聴カードで出された内容と回答（令和3年度・令和4年度）

	回答時期	申出内容	回答
1	令和3年度 第1四半期	乳幼児医療助成の所得制限の撤廃について、平成28年に請願が採択されたが、制度見直しがされない。子育てしやすいまちと思い数年前に引っ越してきた。早急に実現をお願いする。	<p>○県に対し「平成29年度予算に係る県政要望」から毎年継続して乳幼児等医療費助成・こども医療費助成の所得制限の撤廃と一部負担金の無料化を要望している。</p> <p>○乳幼児等医療費助成・こども医療費助成の所得制限の撤廃は、厳しい財政状況を踏まえると、市単独での実施は大変厳しい。</p> <p>○今後も、所得制限の撤廃については、国や県に粘り強く要望していく。</p>
2	令和3年度 第1四半期	以前にも同内容でお願いしたが、市長が変わったので改めて要望する。所得制限を超える世帯の医療費の負担に上限を定めて欲しい。住民税を払っても、子育てを支援してもらえないし、保育料も高い。子育てするうえで損な自治体と感じている。	<p>○所得要件は、県の基準が保護者の所得を合算して制限を設けているのに対し、本市は、保護者の所得を合算せずに、市独自で対象者を拡充している。</p> <p>○所得制限を超える子育て世帯に対しても、医療費の負担上限を定める方法により、多くの子育て世帯に医療費助成ができるようにとのことについては、本市の厳しい財政状況を踏まえると、市単独での更なる制度の拡充は困難と考えている。</p> <p>○本市においては、総合計画に示しているように、「子どもがいきいきと健やかに育つ環境づくり」を目指し、様々な施策を推進しているが、その中においても乳幼児等・こども医療費助成制度は重要な施策であると認識している。</p> <p>○制度の拡充については、財源確保に向け県に対し要望を継続しているところである。</p>
3	令和3年度 第4四半期	宝塚市は高所得者の家族や子どもに対して少し冷たいと考える。軽い病気や肌荒れなどでは病院に連れて行かない親がいるのではないかと。他市では高所得者でも医療費負担が軽くすみ、子育てがしやすい街である。	<p>○市としても、子どもがいきいきと健やかに育つ環境づくりを目指すべく医療費助成制度のさらなる充実の必要性は認識しているが、市の厳しい財政状況を踏まえると、市単独での実施は困難な状況である。</p> <p>○今後も、乳幼児等・こども医療費助成制度の所得制限の撤廃については、国や県に粘り強く要望していく。</p>

4	令和3年度 第4四半期	こども医療費助成について平成28年に請願が採択されたが、いまだに助成がない。	<p>○県に対し「平成29年度予算に係る県政要望」から毎年継続して乳幼児等医療費助成・こども医療費助成の所得制限の撤廃と一部負担金の無料化について要望している。</p> <p>○乳幼児等医療費助成・こども医療費助成の所得制限の撤廃は、本市の厳しい財政状況を踏まえると、市単独での実施は大変厳しい状況である。</p> <p>○本市では、子どもがいいきと健やかに育つ環境づくりを目指し、様々な施策を推進しているが、その中においても乳幼児等医療費助成・こども医療費助成制度は重要な施策であると認識している。</p> <p>○今後も、乳幼児等医療費助成・こども医療費助成制度の所得制限の撤廃については、国や県に粘り強く要望する。</p>
5	令和4年度 第2四半期	昨年、宝塚市に転入したが、色々と所得制限があるのは納得いかない。子どものための制度なのに、なぜ親の所得が関係するのか。所得の高い子育て世帯は転入してこられないのではないか、街にとって全く良いとは思えない。	<p>○子どもがいいきと健やかに育つ環境づくりを目指すべく乳幼児等・こども医療費助成制度のさらなる充実の必要性は認識しているが、本市の厳しい財政状況を踏まえると、市単独での所得制限の撤廃は大変厳しい状況にある。</p> <p>○乳幼児等・こども医療費助成制度の拡充については、財源確保に向け県に対し継続して要望をしている。</p>
6	令和4年度 第3四半期	転入前から制度は調べていたが、実際に小児科にかかって医療費の高さに驚いた。子どもの傷病は頻繁に発生し費用負担は大きい。せめて周辺市と同程度の一部負担にしてほしい。	<p>○西宮市のように「所得制限を超えた方に定額負担を設ける方法」を実施した場合を試算したが、本市の厳しい財政状況を踏まえると、市単独での実施は大変厳しい状況にある。</p> <p>○乳幼児等・こども医療費助成制度の拡充については、財源確保に向け県に対し継続して要望を行っているところである。</p> <p>○本市においては、総合計画に示しているように、「子どもがいいきと健やかに育つ環境づくり」を目指しており、様々な施策を推進しているが、その中においても乳幼児等・こども医療費助成制度は重要な施策であると認識している。</p>
7	令和4年度 第4四半期	ニュースで見たが、所得制限を撤廃している市がいくつかある。所得制限があることで心理的に医療機関にかかることに慎重になり子どもに十分な医療を受けさせることがためられ	<p>○本市においては、総合計画に示しているように、「子どもがいいきと健やかに育つ環境づくり」を目指しており、様々な施策を推進しているが、その中においても乳幼児等・こども医療費助成制度は重要な施策であると認識している。</p> <p>○本年2月13日の施政方針において表明したとおり、本市の子どもたちが安心して医療を受けられるよう、子どもの医療費助成制度の拡充について、令和5</p>

		る。ぜひ所得制限の撤廃を検討してもらいたい。	年度（2023年度）中の実現に向けて取り組んでいる。
8	令和4年度 第4四半期	宝塚市のこども医療助成制度は子育て罰だと思ふ。無料でなくても自己負担額の上限を定めることはできないのか。	<p>○本市においては、子どもがいきいきと健やかに育つ環境づくりを目指すべく、乳幼児等・こども医療費助成制度のさらなる充実の必要性を認識している。</p> <p>○本年2月13日の施政方針において表明したとおり、本市の子どもたちが安心して医療を受けられるよう、子どもの医療費助成制度の拡充について、令和5年度（2023年度）中の実現に向けて取り組んでいる。</p>